

報道関係者 各位

平成30年 3 月19日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

主査 江崎 治朗(内線2573)

国家試験係長 高原 裕弥(内線2574)

(代表電話) 03 (5253) 1111

第 112 回医師国家試験の合格発表

平成 30 年 2 月 10 日（土）及び 11 日（日）に東京都他 11 か所において実施した第 112 回医師国家試験の合格者を発表しました。今回の医師国家試験の合格者数等は次のとおりです。

記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	9,227 人	8,924 人	8,330 人	93.3%
全 体	10,351 人	10,010 人	9,024 人	90.1%

第112回医師国家試験の合格基準

第112回医師国家試験の合格基準は、

- ①必修問題は、一般問題を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、
総得点が、160点以上／200点
但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、
必修問題の得点について総点数の80%以上とする。
- ②必修問題を除いた一般問題及び臨床実地問題については、
各々1問1点とし、
総得点が、208点以上／299点
- ③禁忌肢問題選択数は、3問以下

とする。

第112回医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 43 問

43 38歳の女性。不妊を主訴に来院した。4年前に結婚し挙児を希望しているが、妊娠はしていない。6か月前に子宮卵管造影検査を受けたが、異常はなかった。5年前から月経痛があり、1年前から月経中に市販の鎮痛薬を服用している。月経周期は38～90日、不整。持続は5日間。過多月経はない。身長164 cm、体重54 kg。体温36.8℃。脈拍68/分、整。血圧110/56 mmHg。腹部は平坦、軟。内診では、子宮は前傾後屈で正常大、可動性不良。Douglas窩に有痛性の硬結を触知する。右卵巣に有痛性の嚢胞を触知する。経膈超音波検査では右卵巣嚢胞の内部エコーは均一である。左卵巣に異常を認めない。右卵巣の経膈超音波像(別冊No. 18)を別に示す。

治療として適切なのはどれか。

- a プロゲステロン療法
- b クロミフェン療法
- c GnRH アゴニスト療法
- d 腹腔鏡下右卵巣切除術
- e エストロゲン・プロゲステロン療法

別 冊
No. 18

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第112回医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 30 問

30 31歳の1回経産婦。妊娠32週1日。性器出血を主訴に妊婦健康診査を受けている周産期母子医療センターに来院した。10日ほど前にも少量の性器出血があり、3日間の自宅安静で軽快したという。本日自宅で夕食作りをしていたとき、突然、性器出血があり、慌てて受診した。第1子を妊娠38週で正常分娩している。体温36.5℃。脈拍88/分、整。血圧102/62 mmHg。来院時、ナプキンに付着した血液は約50 mLだった。腔鏡診で計250 mLの血液および凝血塊の貯留を認め、子宮口から血液流出が続いているのが観察された。腹部超音波検査で胎児推定体重は1,850 g、羊水量は正常。胎児心拍数陣痛図で子宮収縮はなく、胎児心拍数波形に異常を認めない。経膈超音波像(別冊No. 3)を別に示す。

対応として正しいのはどれか。

- a 帝王切開を行う。
- b 子宮頸管縫縮術を行う。
- c 翌日の受診を指示し帰宅させる。
- d β_2 刺激薬の点滴静注を開始する。
- e オキシトシンの点滴静注を開始する。

別 冊

No. 3

(採点上の取り扱い)

複数の選択肢を正解として採点する。

(理 由)

設問が不明確で複数の選択肢が正解と考えられるため。

第112回医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

E 問題 第 6 問

- 6 筋肉注射に適さないのはどれか。
- a 三角筋
 - b 大殿筋
 - c 中殿筋
 - d 上腕二頭筋
 - e 大腿四頭筋(外側広筋)

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

医師国家試験 合格者数等の推移

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第112回	平成30年 2月 10 ~11日	10,010	9,024	90.1
第111回	平成29年 2月 11 ~13日	9,618	8,533	88.7
第110回	平成28年 2月 6 ~ 8日	9,434	8,630	91.5
第109回	平成27年 2月 7 ~ 9日	9,057	8,258	91.2
第108回	平成26年 2月 8 ~ 10日	8,632	7,820	90.6
第107回	平成25年 2月 9 ~ 11日	8,569	7,696	89.8
第106回	平成24年 2月 11 ~ 13日	8,521	7,688	90.2
第105回	平成23年 2月 12 ~ 14日	8,611	7,686	89.3
第104回	平成22年 2月 13 ~ 15日	8,447	7,538	89.2
第103回	平成21年 2月 14 ~ 16日	8,428	7,668	91.0

医師国家試験 男女別合格者数等の推移

回数	受験者数(人) 男女比(%) 合格者数(人) 男女比(%)	総数	男女別合格者数等		男女別合格率(%)	
			男性	女性	男性	女性
第112回 (平成30年)	10,010 6,685 (66.8) 3,325 (33.2) 9,024 5,958 (66.0) 3,066 (34.0)	10,010	6,685 (66.8)	3,325 (33.2)	89.1	92.2
第111回 (平成29年)	9,618 6,368 (66.2) 3,250 (33.8) 8,533 5,593 (65.5) 2,940 (34.5)	9,618	6,400 (67.8)	3,034 (32.2)	90.7	93.2
第110回 (平成28年)	9,434 6,400 (67.8) 3,034 (32.2) 8,630 5,802 (67.2) 2,828 (32.8)	9,434	6,245 (69.0)	2,812 (31.0)	90.6	92.6
第109回 (平成27年)	8,258 5,655 (68.5) 2,603 (31.5) 8,632 5,948 (68.9) 2,684 (31.1) 7,820 5,337 (68.2) 2,483 (31.8)	8,258	5,948 (68.9)	2,684 (31.1)	89.7	92.5
第108回 (平成26年)	8,569 5,820 (67.9) 2,749 (32.1) 7,696 5,180 (67.3) 2,516 (32.7)	8,569	5,180 (67.3)	2,516 (32.7)	89.0	91.5

第112回医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次	受験可能回数	受験者数(人)	構成比(%)		合格者数(人)	合格率(%)
			受験者数(人)	合格者数(人)		
新卒 平成29年 4月～ 平成30年 3月	1回	8,924	89.2	8,330	93.3	
既卒	平成28年 4月～ 平成29年 3月	720	7.2	575	79.9	
	平成27年 4月～ 平成28年 3月	148	1.5	79	53.4	
	平成26年 4月～ 平成27年 3月	49	0.5	19	38.8	
	平成25年 4月～ 平成26年 3月	33	0.3	8	24.2	
	平成24年 4月～ 平成25年 3月	15	0.1	3	20.0	
	平成23年 4月～ 平成24年 3月	11	0.1	3	27.3	
	平成22年 4月～ 平成23年 3月	11	0.1	1	9.1	
	平成21年 4月～ 平成22年 3月	10	0.1	1	10.0	
	平成21年 3月以前	10回以上	89	0.9	5	5.6
	計		1,086	10.8	694	63.9
総計		10,010	100.0	9,024	90.1	